

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人鳥取県共同募金会

令和6年度 事業報告書

目 次

【はじめに】	1
1 適切な組織運営	1
(1) 役員会等の開催	
ア 評議員会の開催	
イ 理事会の開催	
ウ 評議員選任・解任委員会の開催	
エ 配分委員会の開催	
オ 監事会の開催	
(2) 中央、ブロック会議等への参加	
(3) 市町村共同募金委員会との連携	
ア 担当者会議の開催	
イ 重要な事務連絡	
ウ 募金運動資材の調達	
2 募金活動の推進	6
(1) 募金目標額の設定と募金実績	
(2) 一般募金の取組み	
(3) つかいみちを選べる募金助成（平成28年度から）	
(4) 税制上の優遇措置の取扱い	
3 寄付金による助成	9
(1) 助成決定	
(2) 歳末たすけあい運動	
ア 地域歳末たすけあい運動	
イ 第74回NHK歳末たすけあい運動	
(3) 本県出身のハンセン病療養所入所者へのお見舞い	
ア ハンセン病療養所の訪問	
イ 見舞金の贈呈	
(4) 災害見舞金の交付	
(5) 災害等準備金積立金取崩し金助成状況	
(6) 共同募金以外の寄付による助成	
ア 企業等からの寄付	
イ 生活困窮者への緊急支援活動全国キャンペーン	
ウ モデル事業の実施	

4	広報・啓発活動の推進	17
	(1) 初日行事・赤い羽根 空の第一便メッセージ伝達式の実施	
	(2) 街頭募金の実施	
	(3) 郵便局窓口への募金箱の設置	
	(4) 戸別配布用チラシの作成	
	(5) 報道機関へテレビ・ラジオスポット放映・放送の素材提供	
	(6) 地方新聞紙面への広告掲載	
	(7) 赤い羽根データベース「はねっと」の活用	
	(8) 助成結果の公表	
	(9) イベント会場等での広報・街頭募金	
	(10) その他	
5	企業との連携強化	19
	(1) 自動販売機を活用した募金寄付	
	ア. 自動販売機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置	
	イ 「鳥取県共同募金会支援自動販売機」の設置	
	(2) ANAによる募金箱の設置協力	
6	災害等準備金及び災害たすけあい運動	22
	(1) 災害等準備金の運営	
	ア 災害等準備金積立状況	
	イ 豪雨災害等に係る災害等準備金の拠出	
	(2) 義援金の取り次ぎと送金	
7	顕彰事業	20
	(1) 県共同募金会会長表彰	
	(2) 県共同募金会会長感謝	
	(3) 県知事表彰	
	(4) 中央共同募金会会長表彰	
8	民間資金助成事業への協力	21
	(公財) 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦	

【はじめに】

「国民たすけあい共同募金」として昭和22年に社会福祉の復興から始まった共同募金運動は昨年度で78回を数えた。

社会福祉法（以下「法」）により本会の活動は第一種社会福祉事業と位置づけられ、都道府県の全域であまねく寄付金を募集すること、「共同募金会」の名称が保護されること、個人・法人とも税制上の優遇措置を受けられることなどにより寄付を得やすい反面、公正な配分に資するため、運営組織とは別に役員が3分の1を超えない条件で「配分委員会」を設置すること、国及び地方公共団体が寄付金の配分に干渉することが禁止されていることなど独立性を保ち公平性を維持するために厳格な運営を求められている。

一方で、都道府県共同募金会の連合組織である中央共同募金会や県・市町村の社会福祉協議会とは法的にも実態的にも緊密に連携していかなければならないところであり、常に情報共有を密にして募金活動に取り組んだきたところである。

しかしながら、本会の募金額は平成7年度(1995年)の約193百万円をピークに減少傾向が続き、ピーク後の最低額となった令和5年度(2023年)には約113百万円と、4割近く減少した。

その背景・原因は、経済動向のほか、国や地方自治体を初め、多様な主体による支援を必要とする人への方策や財源の拡充のほか、人口減少・地域への帰属意識の低下やこれらに伴う地域の住民組織への参加者の減少による戸別募金の減少、「支える人を支える募金」の性格上、誰に配分されどのように使われているのかわかりにくいという制度自体に起因する課題など、多様な観点から適示されているところであり、様々なメディアを活用し、関係機関と協働して継続的に共同募金への理解を深めるよう取り組まなければならない。

支援を要する方の態様も、高齢者、障がい児・者、児童・青少年など特性がつかみやすい方のみならず、新型コロナウイルス感染症の蔓延以降、地域社会との関りがさらに薄れ孤立する人が増加しており、従来の視点だけでは捉えにくい複合的なニーズに対応する必要性が顕在化しているほか、近年は大規模な自然災害が頻発しており、発災後速やかに福祉的観点からの支援を行う活動への支援のニーズも拡大しており、事前の準備も充実していなければならない。

加えて、民間団体からの募金や中央共同募金会が保有している募金を原資とするモデル事業への取り組みも合わせて、助成額の実質的な充実を図るため、積極的に取り組むこととした。

以上のような観点を踏まえて、総計画額を115百万円として取り組んだ募金活動であったが、計画時には見込んでいなかった高額の寄付が中央共同募金会を通じて全国の共同募金会に均等に配分されたこともあり、総額では128百万円、110.7%の達成率となった。

1 適切な組織運営

県民に対する説明責任を果たし地域社会に貢献する法人として、ホームページ等により経営組織・財務状況など情報の提供・公開を行い、事業運営の透明性確保、適正な会務運営に努めた。

また、現況報告書や財務諸表等の重要な情報については、所轄庁（県福祉監査指導課）を通じて、全国的なデータベース（WAMネット）に公開した。

（１）役員会等の開催

ア 評議員会の開催〔定数 26名〕

【任期：令和3年6月28日から令和6年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで】

開催日時等	審 議 事 項	結 果
第220回 令和6年6月25日 出席 評議員17名 監 事1名	1 令和5年度事業の報告及び決算（案）について 2 次期役員の選任について 3 共同募金会課長表彰及び感謝の受賞者について	原案のとおり承認 原案のとおり選任 〃
第221回 令和6年7月30日 出席 評議員18名 監 事2名	1 令和6年度共同募金助成計画（案）及び目標額（案）について 2 令和6年度「つかいみちを選べる募金」助成事業取扱要領（案）について 3 令和5年度災害等準備金積立金取崩し金助成計画（案）について 4 役員の選任について	原案のとおり承認 〃 〃 原案のとおり選任
第222回 令和7年3月25日 出席 評議員19名 監 事2名	1 令和6年度共同募金実績及び助成決定（案）について 2 令和6年度補正予算（案）について 3 令和7年度事業計画（案）及び予算（案）について 4 経理規程第66条の改正について 5 災害等準備金取崩し金助成要綱の改正について 6 災害等準備金助成方針の改正について 7 本会役員等が電磁的記録により同意等の意思表示を行う手続きについて	原案のとおり承認 〃 〃 〃 〃 〃 〃

イ 理事会の開催〔定数 15名〕

【任期：令和5年6月26日から令和6年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで】

開催日時等	審 議 事 項	結 果
第288回 令和6年6月7日 出席 理事12名 監事 なし	1 令和5年度事業の報告及び決算（案）について 2 第220回評議員会の開催について 3 次期役員選任候補者の推薦について 4 共同募金会課長表彰及び感謝の受賞者について	原案のとおり承認 〃 〃 〃

第 289 回 令和 6 年 7 月 19 日 出席 理事 12 名 監事 1 名	1 令和 6 年度共同募金助成計画（案）及び目標額（案）について	原案のとおり承認
	2 令和 6 年度「つかいみちを選べる募金」助成事業取扱要領（案）について	〃
	3 令和 6 年度災害等準備金積立金取崩し金助成計画（案）について	〃
	4 第 2 2 1 回評議員会の開催について	〃
	5 評議員後任候補者の推薦について	〃
	6 評議員選任・解任委員会の開催について	〃
	7 役員選任候補者の推薦について	〃
	8 常務理事の選任について	原案のとおり選任
第 290 回 令和 7 年 3 月 14 日 出席 理事 12 名 監事 2 名	1 令和 6 年度共同募金実績及び助成決定（案）について	原案のとおり承認
	2 令和 6 年度補正予算（案）について	〃
	3 令和 7 年度事業計画（案）及び予算（案）について	〃
	4 第 2 2 2 回評議員会の開催について	〃
	5 経理規程第 66 条の改正について	〃
	6 災害等準備金取崩し金助成要綱の改正について	〃
	7 災害等準備金助成方針の改正について	〃
	8 本会役員等が電磁的記録により同意等の意思表示を行う手続きについて	〃

ウ 評議員選任・解任委員会の開催〔定数 5 名〕

【任期：令和 3 年 6 月 1 0 日から令和 6 年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで】

開催日時等	審 議 事 項	結 果
令和 6 年 8 月 26 日 【書面開催】	1 後任評議員の選任について	原案のとおり選任

エ 配分委員会の開催〔定数 1 1 名〕

【任期：任期：令和 5 年 6 月 2 6 日～令和 7 年 6 月 2 5 日まで】

開催日時等	審 議 事 項	結 果
第 1 回 令和 6 年 7 月 11 日 福祉人材研修センター 出席 委員 8 名	1 令和 6 年度共同募金助成計画及び助成計画に基づく目標額（案）について	原案のとおり承認
	2 令和 6 年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦について	9 事業を推薦決定
	3 令和 6 年度 NHK 歳末たすけあいスケジュールについて	原案のとおり承認
	4 災害等準備金積立金取崩し金助成事業（案）について	〃
	5 令和 6 年度つかいみちを選べる募金助成事業取扱要領（案）について	〃
現地実態調査 令和 6 年 10 月 10 日 及び 10 月 11 日 出席 委員 7 名	令和 6 年度 NHK 歳末たすけあい助成及び全国キャンペーンに係る申請団体実態調査 (東部 2、中部 1、西部 4)	7 施設を訪問・調査

第2回 令和6年10月17日 上井コミュニティセンター 出席 委員10名	1 令和6年度「つかいみちを選べる募金」助成事業について 2 令和6年度NHK歳末たすけあい助成申請事業について	5団体を承認 4団体を承認
令和6年12月26日 福祉人材研修センター 出席 委員8名	令和6年度(第74回)NHK歳末たすけあい助成式	5団体に贈呈
第3回 令和7年3月6日 福祉人材研修センター 出席 委員9名	1 令和6年度共同募金助成決定(案)について 2 令和7年度の共同募金運動(案)について	原案のとおり承認 〃

オ 監事会の開催

【任期：令和3年6月25日から令和6年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで】

開催日時等	監 査 事 項	結 果
令和6年5月24日 福祉人材研修センター 出席 監事2名	1 令和5年度業務及び予算の執行状況 2 令和5年度末における資産の状況	指摘事項なし 純資産の状況 53,950,380円

(2) 中央、ブロック会議等への参加

中央共同募金会が主催する会議に参加し、共同募金運動の一層の円滑な運営を図るための情報共有、意見交換に努めた。

また、児嶋会長が中央共同募金委員会における各県の共同募金会を代表する一人として評議員会に出席した。

【任期：令和3年12月15日から令和6年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで】

会 議 ・ 研 修		期 日	開催地	出席者
中央会議	・ 中央共募第201回評議員会 ・ 中央共募第202回評議員会 ・ 中央共募第203回評議員会	6月21日 10月12日 3月7日	欠席 書面 オンライン	会 長
	・ 令和6年度第1回ブロック幹事会	1月19日	東京都	事務局長
	・ 第1回都道府県共募常務理事・事務局長会議	7月16～17日	欠席 オンライン	事務局長
	・ 第2回都道府県共募常務理事・事務局長会議	2月7日		
	・ 都道府県共同募金会職員会議 ・ 都道府県共同募金会職員研修会	4月18～19日 11月7～8日	東京都 東京都	職 員

	第13回赤い羽根全国ミーティング in 信州 「じぶんの町を良くする会議」	7月3～ 4日	長野市	職員 南部町
	第1回都道府県共同募金会オンラインサロン	7月31日	オンライン	職員
	第2回都道府県共同募金会オンラインサロン	12月13日	オンライン	
	第3回都道府県共同募金会オンラインサロン	3月21日	不参加	
中・四国 ブロック	・中・四国ブロック常務理事・事務局長会議 ・中・四国ブロック職員会議	10月21～ 15日 8月21～ 22日	山口県 岡山県	事務局長 職員

(3) 市町村共同募金委員会との連携

ア 担当国会議の開催

<第1回>

期 日 令和6年8月20日（火）14:00～15:30

場 所 倉吉体育文化会館（小研修室）

出席者数 18市町村・19名

内 容 事業方針

- ・令和6年度共同募金運動実施について
- ・令和6年度共同募金助成計画・目標額について

事務説明

- ・災害等準備金取崩し金助成事業について
- ・令和6年度生活困窮者への緊急支援活動について
- ・財務会計システムの運用について

報告事項

- ・第13回赤い羽根全国ミーティングに参加して
- ・不適切事案の発生・再発防止の取組みについて
- ・県共同募金会長表彰及び感謝の受賞者について

意見交換

- ・募金実績を上げるための取組みについて
- ・市民への募金実績の周知方法について

<第2回>

期 日 令和7年2月26日（木）13:30～15:30

開催方法 オンライン

出席者数 19市町村・23名

内 容 事務説明

- ・令和6年度の募金実績・助成決定(案)について
- ・年度替わりの事務作業について
- ・防犯ブザーの頒布について

- ・市町村共同募金委員会の出納業務適正実施のためのチェックポイントの作成について
- ・郵便局窓口への募金箱設置について

意見交換

- ・インターネットバンキングの活用状況について
- ・会計処理について
- ・民生児童委員協議会との連携について
- ・事務費について
- ・（金融機関の）手数料について
- ・ATM 硬貨入金手数料について
- ・地域歳末募金について

イ 重要な事務連絡

（１）共同募金に係る財務省からの指示に関する今後の対応について

期 日 令和 6 年 9 月 1 8 日
宛 先 各市町村共同募金委員長
要 旨 「募金グッズに関する今後の対応方針について（令和 6 年 9 月 1 7 日付中央共募運発第 1 0 2 号 各都道府県共同募金会事務局長あて（社福）中央共同募金会事務局長通知）」の内容の伝達

（２）自由民主党からの寄付金の取扱方針について

期 日 令和 7 年 1 月 3 1 日
宛 先 各市町村共同募金委員長
要 旨 「自由民主党からの共同募金に対する寄付金の送金について（令和 7 年 1 月 1 5 日付中央共募運発第 1 7 6 号 各都道府県共同募金会事務局長あて（社福）中央共同募金会事務局長通知）」及び同通知に関する本会取扱方針（案）の伝達

ウ 募金運動資材の調達

募金運動資材を次のとおり作成・購入し、運動の効果的な実施を図った。

目的別	資 材 名	数 量	金 額 (円)
広 報	ポスター	1,372 枚	30,135
	壁新聞	40 枚	1,200
	ステッカー・シール	536 枚	13,506
計			44,841
運 動 啓 発	チラシ	184,856 枚	277,830
	ガイドブック・パンフレット	6,972 部	60,716
	据置式等募金箱（附属品等を含む）	95 個	255,505
	簡易式募金箱（職場募金等用）	182 個	14,980
	ドラえもん組み立て式募金箱・ワッペン	12,078 枚	246,300
計			855,331

返 礼	赤い羽根	121,400 枚	264,983
	絆創膏	1,400 セット	45,200
	募金バッジ（本会オリジナル含む）	5,041 個	643,576
	ボールペン・クリアファイル など	4,765 個	346,236
	プリペイドカード	253 枚	155,848
	エコバッグ	379 枚	140,430
	赤い羽根ロゴ入りストラップ	22 本	7,700
計			1,603,973
送 料			78,725
合 計			2,582,870

2 募金活動の推進

（１）募金目標額の設定と募金実績

令和６年度は、目標額１１５，０００千円（前年対比 95.8％）を掲げ、戸別募金や法人募金に取り組むとともに、中央共同募金会が主唱する全国キャンペーンにも参加して募金額の確保に努めたところ、募金実績は１２８，７４４千円（同 113.9％）となった。

（単位：円）

種 別	目標額	実績額	達成率	前年度実績額
一般募金	95,000,000	109,371,014	115.1％	93,400,521
地域歳末たすけあい募金	17,836,000	17,400,812	97.6％	17,683,486
NHK歳末たすけあい	2,164,000	1,833,431	92.2％	1,994,925
計	115,000,000	128,605,257	112.0％	113,078,932

（２）一般募金の取組み

１０月１日から実施した赤い羽根の共同募金運動は、昭和２２年に「国民たすけあい運動」として始まり今年が第７８回を数える。

助成計画及び募金目標額に基づき地域福祉活動を支援するための募金運動として展開するとともに、中央共同募金会が主唱する全国共通助成テーマとも協調しながら、地域課題である社会的孤立の解消に向けた募金活動を推進した。

また、市町村共同募金委員会での企業・会社訪問のほか、本会としても金融機関や一般企業に対して法人募金への協力を呼びかけた。

【全国共通助成テーマ】

「つながりをたやさない社会づくり ～ あなたはひとりじゃない ～」

(3) つかいみちを選べる募金助成（平成28年度から）

福祉課題を解決するため地域で活動している団体が本会与協働して、直接必要性を広く県民に訴え、助成先を選択して寄付をしていただく募金活動「つかいみちを選べる募金」に継続して取り組んでいる。

【取組内容】

運動期間：令和7年1月1日～3月31日

実施団体：県下全域で福祉活動を推進している非営利の団体

(単位：円)

団 体 名	募金事業名	申請額	実績額	助成額
(公社) とっとり 被害者支援センター	犯罪被害者等支援事業	1,000,000	996,172	1,095,000
(特非) こども未来 ネットワーク	子どもの笑顔発見プロジェクト2025	350,000	387,565	426,000
とっとり子どもの居 場所ネットワーク “えんたく”	こども食堂対象文化芸術 体験事業	300,000	39,731	43,000
鳥取県腎友会	慢性腎臓病の予防の推進 と慢性腎臓病患者への情 報発信	300,000	435,300	478,000
(一社) 鳥取県母子寡婦 福祉連合会	第75回全国母子寡婦福祉 研修大会開催事業	200,000	807,925	888,000
計		2,150,000	2,666,693	2,930,000

(4) 税制上の優遇措置の取扱い

租税特別措置法施行令に基づく税額控除に係る証明書（鳥取県知事通知）

〔証明有効期間：令和4年6月17日～令和9年6月16日まで〕

減税措置の周知

- ・募金ボランティアの手引きの作成
- ・企業向け説明資料、チラシの作成
- ・日本海新聞へ掲載（令和6年9月30日）
- ・本会ホームページへ掲載

3 寄付金による助成

市町村共同募金委員会に寄せられた募金及び中央募金会経由で本会に寄付された募金1件の募金額の70%を地域助成枠として助成し、残りの30%とその他の本会の募金額を加えた額を広域助成枠として、助成計画に基づいて民間社会福祉施設や県域民間福祉団体に対し助成した。

(1) 助成決定

寄付金の助成は本会配分委員会に諮り、理事会並びに評議員会の承認を経て決定した。

(単位：円)

区 分		配分額
一般募金	広域助成 (福祉施設、県域団体、つかいみち、等)	14,976,074
	地域助成 (地域福祉活動、福祉施設、NPO、等)	72,619,773
	計	87,595,847
歳末たすけあい募金	地域歳末たすけあい助成	17,400,812
	NHK歳末たすけあい助成	2,130,000
	計	19,530,812
本会・市町村共同募金委員会運動経費		21,478,598
合 計		128,605,257

(2) 歳末たすけあい運動

地域・NHK歳末たすけあいの運動を12月1日から1ヵ月にわたって実施した。

地域歳末たすけあい運動による寄付金の助成は、市町村ごとに、年末の時期に実施される地域・在宅福祉サービス事業に対し助成され、またNHK歳末たすけあい運動による助成については、施設利用者の文化活動等の充実のための事業へ助成した。

ア 地域歳末たすけあい運動

市町共同募金委員会と市町社会福祉協議会等の団体が共催で12月31日まで実施し、これに支援・協力した。

実施市町：17市町共同募金委員会・社会福祉協議会

イ 第74回NHK歳末たすけあい運動

NHK、NHK厚生文化事業団、中央共同募金会が主催し、本会、NHK鳥取放送局、各銀行・農協・漁協・郵便局、他が窓口となって、12月1日から12月25日までの間実施し、5団体に対し助成した。

【助成式】

日 時：令和6年12月26日（木）

会 場：県立福祉人材研修センター

出席者：助成団体代表 5団体7名、NHK鳥取放送局 新見局長、児嶋会長 ほか

内 容：目録の贈呈、お礼の言葉、情報交換会

助成額：次表の通り

【事業区分1】文化活動のための物品購入・地域交流事業等 4/5以内 上限2万円 （単位：円）

NO	団体名	事業内容	経費内訳	
1	社会福祉法人 因伯子供学園 理事長 石亀 政道 (倉吉市)	【入所児童のためのバスケット ゴール購入事業】 余暇活動のために設置していたバスケット ゴールが破損したため更新する。また、2台設 置することで試合形式での使用や児童の年齢 に合わせた活用が出来る。	バスケットゴール2台 バスケットボール (小学生用3個、 中高学年用3個)	
			事業総額	助成額
			193,160	150,000

【事業区分3】福祉団体や施設等の利用者の安心・安全のため緊急に実施しなければならない事業
4/5以内 上限50万円
(単位：円)

NO	団体名	事業内容	経費内訳	
2	特定非営利活動法人 ねっこ 理事長 山本 英章 ねっこ作業所 (鳥取市)	【利用者さん健康維持のための事業(エアコン更 新)】 R4年10月に作業所を移転し、旧作業所から 移設したエアコンを使用していたが、老朽化 が進み更新が必要な状態となった。また、年 間を通じ快適な環境で作業を行うことができ るよう、カビ・ホコリを除去できる機能を持 った業務用エアコンを増設する。	エアコン移設・新規購入 移設・新品設置工事、 動力電源工事費用	
			事業総額	助成額
			626,890	500,000
3	特定非営利活動法人 共生会 理事長 石田 崇博 共同生活援助 ほほえみホーム (米子市)	【グループホーム安全対策改修事業】 グループホーム利用者による頻繁な往来の ため居室前廊下や多目的室床板がへこみ・た わみ等の傷みが顕著となっている。また、階 段には手摺がなく利用者の心身の状態によっ ては危険があり、安全の確保のため施設内の 改修を行う。	住宅(床・縁側・階段等) 改修工事	
			事業総額	助成額
			614,000	490,000
4	特定非営利活動法人 リカバリーポイント 施設長 千坂 雅浩 鳥取ダルク(岩美町)	【防災・防火のための改修工事事業】 当施設は昭和40年に建築された木造建築を 利用している。建築基準法による県の立ち入 り検査にて防災・防火のための改修が必要で あることが指摘されている。ついては、可燃 材の解体と不燃材の張替、及び出入口の増設 工事を実施する。	撤去工事・内装工事 電気設備工事	
			事業総額	助成額
			970,000	500,000

5	特定非営利活動法人 ノーム 理事長 吉田 尚代 ノームの糸車 (南部町)	【エアコン設置事業】 作業棟のエアコンは経年劣化のため効きが 悪く利用者が体調を崩すことがあったので早 急に更新したい。また、同棟に利用者就労支 援として新しくカフェを開設する予定もあ り、新規にエアコンを設置する。	エアコン新規購入、 設置工事費用	
			事業総額	助成額
			561,000	440,000

(3) 本県出身のハンセン病療養所入所者へのお見舞い

ア ハンセン病療養所の訪問（岡山県）

日 時：令和6年11月12日（火）

会 場：長島愛生園

参加者：藤井副会長兼常務理事、相見配分委員会委員長ほか委員3名、事務局 3名
県社協役職員 11名

内 容：本会の入所者訪問事業と県社協職員人権研修との合同事業として実施
配分委員会委員長等が入所者に面談し、見舞金を贈呈。

イ 見舞金の贈呈

贈 呈 先	本県出身者数	見舞金額（円）
長 島 愛 生 園（岡山県）	2 名	20,000
菊 池 恵 楓 園（熊本県）	1 名	10,000
栗 生 楽 泉 園（群馬県）	1 名	10,000
合 計	4 名	40,000

(4) 災害見舞金の交付

火災及び自然災害により住宅破損又は人的被害を被った県民に対し、市町村共同
募金委員会を通じて見舞金を贈った。（単位：千円）

市町村	全 焼		半 焼		全 壊	半 壊	死 亡		合 計	
鳥取市	3	60	1	20					4	80
米子市	3	60					1	10	4	70
倉吉市	1	20	1	20					2	40
岩美町	2	40					1	10	3	50
智頭町	5	100							5	100
大山町	1	20					1	10	2	30
日南町	1	20							1	20
合 計	16	320	2	40			3	10	21	390

(5) 災害等準備金積立金取崩し金助成状況

ア 「安心・安全なまちづくり支援事業助成」防犯ブザーの贈呈事業

共同募金創設60周年を期して設定された全国共通配分テーマ「地域の安心・安全の暮らしを住民とともにつくる活動の支援」を継承し、「安心・安全なまちづくり支援事業助成」として、子ども達の防犯意識の芽生え・意識付けを目的に株式会社エフエム山陰と協働して鳥取県小学校長会、鳥取県特別支援学校長会へ防犯ブザー計4,350個を贈呈した。

① 贈呈式

日 時：令和7年3月24日（月）

会 場：県教育長室

出席者：県教委 足羽教育長、長谷川教育次長、浜辺体育保健課係長

県共募 児嶋会長、藤井副会長、相見配分委員長

F M山陰 今岡鳥取支社長

② 防犯ブザー 計4,350個

(内訳) 鳥取県小学校長会 4,265個、鳥取県特別支援学校長会 78個

予備 7個

③ 助成額 813,450円

(6) 共同募金以外の寄付による助成

ア 企業等からの寄付

企業等から寄託された共同募金以外の寄付金の受入と助成を行った。

(単位：千円)

寄付者	寄付額	助 成 先	助成額	助成内容
プロゴルフ協議会 「Hitachi 3 Tours Championship 2022」 〔R6.3.8 受入〕	400	社会福祉法人 みのりふくし会 母子生活支援施設 ブルーインター	200	お花見や夏休み、お祭りなどの行事の際、親睦を深めるため、バーキューや焼きそばづくりをするため ガステーブルと鉄板を購入 ガステーブル 1 台 鉄板 1 枚
		社会福祉法人 みその福祉会 米子聖園天子園	200	子ども達がホームの中で自由に使えるパソコンを購入 パソコン 3 台
篠原欣子記念財団 「高齢者交流及び居場所づくり事業」 〔R6.3.15 受入〕	270	公益社団法人 鳥取県老人 クラブ連合会	270	高齢者ふれあい交流大会 (ラダーゲッター大会) 期 日 令和6年8月23日(金) 場 所 倉吉体育文化会館 体育館 参加人数 136 名
合 計	670	2 件	670	

イ 生活困窮者への緊急支援活動全国キャンペーン

市町村社会福祉協議会又は生活困窮に関する相談事業を実施する法人及び団体で本県内で活動するものがポスト社会にあって困難を抱えた人たちの相談を行う際に、緊急的に配布する必要がある食料品や日用品等の購入等に対して助成を行った。

(単位：円)

助成事業者	【事業名】 事業内容	総事業費	助成額
社会福祉法人 琴浦町社会福祉協議会	【生活用品支援事業】 一時的に生活困窮者等の世帯にあって、必要な生活用品を提供することで、自立への支援と適切な制度や支援につなぎ、行政やその他の関係機関との連携により地域での自立を目指した継続的な相談支援を行う。 <提供する生活用品> トイレットペーパー、町指定ゴミ袋	121,860	120,000
社会福祉法人 南部町社会福祉協議会	【生活困窮者を対象とした相談事業及び食料配布事業】 自立支援機関に繋がった生活困窮者に対し緊急的に必要と判断した場合、迅速に必要な食料品を提供することができるよう、缶詰やレトルト食品などを購入する。 自立支援機関の相談に繋がらない要支援者への訪問時にも持参する。	101,622	100,000
社会福祉法人 鳥取市社会福祉協議会	【新型コロナウイルス特例貸付借受人世帯への生活状況アンケート調査】 生活上の困りごとの把握、支援が必要な世帯への伴走支援のきっかけづくり、貸付の滞納が続いている世帯や通知償還免除申請案内への応答がない世帯へのアプローチなど、フォローアップ支援業務におけるアウトリーチ活動として生活状況アンケート調査を実施する。回答御礼として米を進呈する。	749,684	500,000
社会福祉法人岩美町社会福祉協議会	【生活困窮者を対象とした相談事業の体制拡充事業】 電気代支払滞納により電気が止まっている、止まることが予想される方の支払いが可能になるまでの間の生活電力を補うため貸出用非常電源を整備する。 また、相談対象者が業務時間内に代表電話へ連絡することが難しい等、連絡手段の問題解決のためスマートフォンを整備する。	237,370	230,000

社会福祉法人 境港市社会福祉協議会	【生活困窮者等への緊急的食糧支援事業 及び生活支援事業】 生活困窮による相談者への緊急的な食糧確保として米・インスタント食品・缶詰等による支援する。 また、健康的配慮や子供・女性に配慮した支援も行う。併せて特定貸付フォローアップ対象者等へのアウトリーチ支援として指定ごみ袋の配布を通じた生活状況確認や相談支援を行う。	501,833	500,000
社会福祉法人 八頭町社会福祉協議会	【生活困窮者、フォローアップ対象者への食料品及び日用品配布事業】 支援対象者への生活状況を聞き取りながら、フォローアップ支援として食料・日用品の提供を行う。また、物価高騰による生活困窮のためフードサポート提供が多くなっていることにより支援物資の備蓄を図る。	195,891	190,000
合 計	助成件数 6 件	1,908,260	1,640,000

ウ モデル事業の実施

令和5年度に、本年度から3か年度に渡り共同募金運動の活性化と共同募金会の機能強化に取り組むモデル事業として中央共同募金会に採択された「赤い羽根パートナーと創る新たな助成事業」を実施した。

① 事業の概要

共同募金会と障がい福祉サービス事業所との間を取り持つNPO法人を「赤い羽根パートナー」として選定し、支援を必要としている障がい福祉サービス事業所に対し丁寧に助成事業を周知するとともに、足りない点があれば新たに助成メニューを設け、助成申請のサポートをするなど、制度の狭間で困難を極めている「障がい者福祉」の現場を支援する。

② 赤い羽根パートナーとして指定したNPO法人

特定非営利活動法人鳥取県障がい者就労事業振興センター

③ 助成の概要

ア 助成額：上限20万円（緊急性・必要性のある備品等の購入は50万円）

イ 助成内容

i 助成対象団体

非営利活動を目的として設立された法人及び団体で、鳥取県内で活動するもの。

ii 対象事業

障がい者が利用する就労系福祉サービス事業所が行う障がい者の収入や職員の支援力の向上等に資する以下の活動

- ・利用者の収入や利用者に対する支援力の向上、職場環境の改善等のために必要な機器・設備の整備
- ・感染症や災害の発生に備えるために必要な器具・設備の整備

- ・障がい特性や障がい程度を踏まえた適切な支援を行うための研修会への参加
- ・利用者支援や生産活動の収支改善に資するための先進的事業所の視察
- ・就労系福祉サービス事業所相互の情報交換会や意見交換会及び研修会やセミナー等の開催

- iii 対象期間 令和7年3月31日（月）までに実施される事業
- iv 対象経費 事業の趣旨及び目的に合致し、経費として特定できるもの
- v 申請方法 「赤い羽根パートナー」が受付し形式審査を経た後に本会へ郵送
- vi 申請期限 令和6年11月29日（金）

ウ 助成を受けた団体は、共同募金運動に協力するものとし、助成額の10%相当額を募金目標額として活動する。

エ 赤い羽根パートナーには、連携・協力に対して180千円を支払う。

④ 助成結果

助成事業者	【事業名】	総事業費	助成額
	事業内容		
鳥取県就労継続支援 A型事業所協議会	【より良いA型事業所を目指すための研修と視察事業】 A型作業所の健全な発展と障がい者の生きがいや幸せのため研修及び視察事業を行う。 ①スマホでの撮影を学び、販促に活用 ②衛生管理基礎研修 ③先進事業所の視察 ※①②は障がい者対象の研修	322,540	300,000
特定非営利活動法人 大地 いちごの広場	【従業者（利用者、職員）の労働環境改善のための施設改修事業】 栽培に取り組んでいる白ねぎの出荷作業場のコンクリート床が削れ粉塵が室内に舞っていることが判明し、作業員の健康を害することが懸念されるため、早急に飛散防止（モルタル床面強化剤）塗装を実施する。	137,060	130,000
特定非営利活動法人 さざなみ作業所	【災害対策事業】 施設内1階・2階で作業をしているが、片側にしか手摺がないので、安心・安全に昇降するため、もう片側にも手摺を設置する。	183,200	180,000

特定非営利活動法人 夢ハウス	【利用者の工賃向上に向けた備品の整備及び感染症対策機器整備事業】 古い会議机やパイプ椅子を使用し作業等を行っているが、劣化が進んでいる。 また、車いすでは机の下に入れないため正しい作業姿勢が取れないので、作業スペースを拡張し作業台と椅子を整備する。 併せて感染予防対策として空気清浄機を新設する。	383,702	300,000
一般社団法人 はまゆう	【利用者の収入向上に向けた機器整備事業】 主要な事業である豆腐焼きドーナツの受注が増えており、製造力及び売上増を図るため不足しているドーナツ製造機と冷凍庫を増設する。	206,184	180,000
特定非営利活動法人 あかり広場	【害対策機器整備事業】 グループホーム利用者の避難場所の照明や冬季の暖房稼働を確保するため災害時用自家発電機を整備する。	217,800	180,000
特定非営利活動法人 は一とぴあ創造	【農作業の効率化と生産向上を図る機器整備事業】 中古品を購入した管理機が使いづらく、劣化も進んでいるため新たに使い易い管理機を整備する。	239,000	200,000
社会福祉法人 手をつなぐ福祉会 かめの会作業所	【シルクスクリーン事業拡大のための機器整備事業】 現在ポロシャツやタオル等に印刷をする際のシルクスクリーンの製版は外注しており、1色あたり12,000円以上の経費が発生するため、大量生産のみ受注しているのを、機器を整備することで要望の多い少量生産にも対応可能となることから利用者の工賃向上に繋がる。	250,150	200,000
特定非営利活動法人 フェリース	【利用者の収入向上に向けた機器整備】 飲食店営業を行っているが、家庭用電子レンジを使用しているため提供に時間を要しているため、業務用電子レンジを整備することでピークタイム時に収益増が可能となり利用者の賃金向上につなげる。	133,100	130,000
合 計	助成件数 9 件	2,072,736	1,800,000

4 広報・啓発活動の推進

共同募金運動の趣旨の理解を得るため、開始にあたっての広報、寄付金の使途についての周知等、年間を通じて広報活動に努めた。

(1) 初日行事・赤い羽根 空の第一便メッセージ伝達式の実施

日 時：令和6年10月1日（火）14:30～15:30

場 所：米子郵便局コミュニティールーム

内 容：ANA（全日本空輸(株)）の協賛、米子市共同募金委員会との協働により「第63回赤い羽根空の第一便メッセージ伝達式」を開催し、厚生労働大臣、中央共同募金会長のメッセージの伝達を受けた。

(2) 街頭募金の実施

初日行事に引き続き、米子市共同募金委員会とともに米子駅周辺において街頭募金を実施した。

他の市町村共同募金委員会においても適時街頭募金活動を実施した。

(3) 郵便局窓口への募金箱の設置

郵便局内に募金箱を設置し、共同募金運動に協力することを目的とした合意書を、昨年度の日本郵便株式会社鳥取郵便局長及び因幡地区連絡会地区統括局長に加え新たに伯耆地区連絡会地区統括局長とも締結し、因幡地域10局から県下全域の78局に拡大した。

合意書締結：令和6年9月9日（月）

設 置 期 間：令和6年9月9日（※）～ 令和12月31日

設置郵便局：合計78局

鳥取中央郵便局関係分：鳥取中央、米子、倉吉、境港 計 4局

因幡地区連絡会関係分：因幡宮ノ下郵便局他23局 計24局

伯耆地区連絡会関係分：倉吉上井一郵便局他49局 計50局

募金実績額：69,908円

（※）合意書締結後順次募金箱を設置した。

(4) 戸別配布用チラシの作成

「令和5年度共同募金結果報告・令和6年度募金依頼」チラシを作成し、県内各世帯に配布した。また、裏面には各市町村共同募金委員会が募金計画、地域福祉事業助成金の使途状況を掲載し、募金運動の理解が一層進むよう努めた。

作成部数 184,700部

(5) 報道機関へテレビ・ラジオスポット放映・放送の素材提供

中央共同募金会が作成した広報資材を各報道機関へ提供するとともに、報道機関（テレビ局7社、ラジオ局1社）、県遊技業協同組合に対し放映・放送の協力を依頼した。

(6) 地方新聞紙面への広告掲載

共同募金運動の普及、助成の公表並びに県民への幅広い呼びかけを行うため、日本海新聞に広告を掲載した。

令和6年4月29日 令和5年度共同募金へのお礼並びに実績報告(全5段広告)

令和6年9月30日 新日本海新聞社の協力による協賛による広告掲載(全5段広告)
令和6年度共同募金運動への協力依頼、募金目標額、
助成事業紹介など

(7) 赤い羽根データベース「はねっと」の活用

共同募金会助成金の活用事例や助成事業について、写真や受給者からの感謝のことばなどを掲載し、寄付者等に対する情報公開に努めた。

(8) 助成結果の公表

被助成施設・団体に対してPR活動並びに運動への協力を要請するとともに、寄付金助成により事業を実施したことの公表及び表示の徹底に努めた。

- ・赤い羽根共同募金助成表示・周知について「助成表示要領」の配布
- ・赤い羽根シール等助成表示資材の配布

(9) イベント会場等での広報・街頭募金

＜1＞ガイナレ鳥取 ホームゲームでのPR・募金活動

ガイナレ鳥取のホームゲームの会場で選手による街頭募金、パネル展示や大型映像装置での動画放映(バードスタジアムのみ)により共同募金への理解促進と募金を呼びかけた。

① オールガイナレヤジスタジアム(10月13日(日)10時30分～13時)

入場者数: 3, 113人

募 金 額 合 計 34, 293円

うち選手(4名) 25, 517円

ブース設置募金箱 8, 776円

② Axis バードスタジアム(10月27日(日)10時～13時)

入場者数: 2, 345人

募 金 額 合 計 32, 257円

うち選手(4名) 20, 790円

ブース設置募金箱 11, 467円

＜2＞ねんりんピック2024 協賛イベントとしてPR・募金活動

ねんりんピック2024の会期中、会場のヤマタスポーツパーク(鳥取県立布勢総合運動公園)内に設けられた協賛イベントブースでパネル展示等により共同募金への理解と協力を呼び掛けるとともに、街頭募金を行った。

募 金 額 合 計 33, 292円

10月19日(土)(10:00～13:30) 11, 062円

20日(日)(10:00～15:45) 13, 496円

21日(月)(10:00～15:30) 8, 234円

(10) その他

- ・ホームページにおいて助成申請の案内、募金実績の報告、税制上の優遇措置などを広報
- ・県市町村社会福祉協議会発行の広報紙へ運動結果等を掲載
- ・共同募金ポスターパネル、募金箱等の貸出

5 企業との連携強化

(1) 自動販売機を活用した募金寄付

ア 自動販売機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置

設置台数：4台（福祉人材研修センター、小波浜自治会、ビーハート中海営業所、大山ガーデンプレイス）

募金実績：56,879円（令和5年11月～令和6年10月）

イ 「鳥取県共同募金会支援自動販売機」の設置（株式会社戸信）

売上げの一部が寄付となる共同募金会支援機能付き自動販売機を設置

設置台数：8台（鹿野町総合福祉センター、(株)清水、倉吉福祉センター、稲葉山地区公民館、生涯学習センター(2)、城北地区公民館、豊美地区公民館）

募金実績：65,068円（令和5年11月～令和6年10月）

(2) ANAによる募金箱の設置協力

ANA（全日本空輸(株)）の協力により、鳥取・米子空港及び空港内店舗に募金箱を設置するとともにポスターを掲示し、共同募金運動の広報に努めた。

（単位：円）

協力企業名	金額
全日本空輸株式会社鳥取空港所	—
全日本空輸株式会社米子空港所	—
ANAFESTA株式会社鳥取店	—
ANAFESTA株式会社米子店	1,219
計	1,219

6 災害等準備金及び災害たすけあい運動

(1) 災害等準備金の運営

募金実績の3%を3年間積み立て、災害救助法が適用される大規模災害の発生に対応した。

なお、準備金は4年目に取崩し助成要綱に基づき対象事業に助成する。

ア 災害等準備金積立状況

令和6年度積立額 3,850,000円

令和6年度末総積立額 10,530,000円（令和3年度～令和5年度積立分）

イ 豪雨災害等に係る災害等準備金の拠出

令和6年度においては災害等準備金からの拠出はなかった。

(2) 義援金の取り次ぎと送金

大雨等の自然災害による義援金の募集に応じ、市町村共同募金委員会を通じて義援金の取りまとめと被災県への送金を行った。

義 援 金 名	金 額
令和6年 能登半島地震災害義援金	1,925,626 円 内、本会扱い分 509,568 円
令和6年7月大雨災害義援金	
令和6年能登豪雨災害義援金	
大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金	

7 顕彰事業

共同募金会事業に功績のあった者に対し表彰状等を贈呈した。

(1) 県共同募金会会長表彰

奉仕功労者（4名）

佐藤 博氏、坪内和夫氏、藤田智治氏、渡邊明彦氏（以上、境港市）

地区及び協力団体・（7団体）

認定こども園 鳥取短期大学附属こども園、鳥取県里親会中部会（以上倉吉市）

琴浦町立船上小学校、聖郷小学校、浦安小学校、八橋小学校、赤碕小学校

（以上琴浦町）

(2) 県共同募金会会長感謝

個人（12名）

大山三郎氏 ほか

団体（4社）

鳥取ガス(株)、鳥取ガス産業(株)、(株)新日本海新聞社、鳥取県大衆音楽協会

(3) 県知事表彰（1団体）

共同募金運動奉仕功労団体

倉吉市立明倫小学校（倉吉市）

(4) 中央共同募金会会長表彰

共同募金運動優良地区・団体

社会福祉法人みのり福祉会 みのり保育園
（倉吉市）

(※) 厚生労働大臣表彰は該当なし

8 民間資金助成事業への協力

(1) (公財) 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦

交付枠：6,790千円 助成成件数：9団体

(単位：千円)

法人名 施設の種類・名称	助成内容	推薦額	助成額
社会福祉法人 伯耆の国 特別養護老人ホーム ゆうらく	除雪機の購入	310	310
社会福祉法人 大徳会 軽費老人ホーム 玉真園	食堂用テーブル・椅子 の購入	1,000	1,000
特定非営利活動法人 大地 就労継続支援B型 いちごの広場	白ねぎ収穫機の購入	430	430
福社会福祉法人 敬仁会 養護老人ホーム シルバー倉吉	冷温水ポンプ取替	930	930
社会福祉法人 信生会 グループホーム 信生ゆりはまの里	LED 照明交換	1,000	1,000
社会福祉法人 尚仁福祉会 デイサービスセンター 江美の里	浴室用ろ過機取替	1,000	1,000
特定非営利活動法人 ノーム 障がい者就労支援 B 型 ノームの糸車	エアコン設置	120	120
社会福祉法人親誠会 デイサービス ひまわり鳥取	福祉車両の購入	1,000	1,000
特定非営利活動法人 ライフサポートともだち 放課後等デイサービス キッズクラブともだち	送迎用車両の購入	1,000	1,000
合計		6,790	6,790

令和6年度事業報告書付属明細書

(事業報告書を補足説明する重要な事項)

I 法人運営の状況

該当なし

II 事業実施の状況

該当なし